

## 【分科会の成果と課題】

### [成果]

- ◇ 三つの分科会いずれも、提案発表をもとに各学校の現状や取組について、小グループで活発に協議することができた。
- ◇ 第1分科会では、地域と連携した防災体制の整備について、区教頭会が連携して取り組むことや、コミ協や自治会、育成協などと連携して取り組むことの大切さについて再確認できた。
- ◇ 第2分科会では、「地域とつながり元気づける教育活動と教頭の関わり」のテーマのもと、地域教育コーディネーターとの連携や自治会、PTA組織との連携の中で、中学校区ミーティングを拡充、継続していくことなど、教頭が果たすべき役割について協議することができた。
- ◇ 第3分科会では、インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の推進に向けて、小中連携のあり方について協議した。教頭としての役割として、「調査の役割」「探す役割」「つなぐ役割」の3つの役割を確認することができた。

### [課題]

- ◆ 分科会を充実させるために、グループ協議の時間を十分にとることなど、分科会の運営についてさらに検討を行う。
- ◆ 参加する一人一人の教頭が、提言に対しての自校の取組や課題について、あらかじめ考えをまとめて研究大会に参加できるように工夫したい。

## 【下越Aブロック大会の成果と課題】

### [成果]

- ◇ 研究会当日までに、計6回の実行委員会を計画通り開催し、準備を整えて当日を迎えることができた。
- ◇ 新潟市小学校教頭会の組織を活用し、各区ごとに仕事を分担したことで、各区の定例教頭会に合わせて部会をもつことができた。これにより、時間、旅費の両面から効率的に準備を進めることができた。
- ◇ 佐渡へ帰る会員の船便を考慮し、受付時刻を早め、分科会の閉会を15時50分としたこと、さらに、佐渡の会員は、閉会式への参加を任意としたことで、「フェリーの乗船に間に合い、ありがたかった」との声が多数聞かれた。

### [課題]

- ◆ 天候によっては、佐渡汽船の欠航も考えられる。その場合の対応について、綿密に決めておく必要がある。
- ◆ 予算との関係もあるが、当日の午前中から分科会の会場準備を行うことが可能かどうか検討する必要がある。

